館報たつおか

発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
信州印刷株式会社
松本市巾上電②5686

文化祭開催を決定

〝学習する心〟の定着化を

49年度公民館事業・委員決る

○… 昭和四十九年度の竜丘公民館の事業計画が出来あがり、先日の憲法記念日には体育委…○○…員会の計画による分館対抗の野球・バレーボール大会が行なわれ、活動がスタートした…○○…今年度の最大の特徴は文化委員会が発展して、新たに民俗資料保存委員会の組織が発足…○○…したことである。昨年度は見送った文化祭も、テーマを決めて取り組むことに決定され…○○…た。

本年度は「学習する心」の定着化を各団体やグループに位置づけて活動の中で生かしてもらい、秋の文化祭にはそれらをふまえた発表会が出来るよう取り組みを強めることが強く推し出された。

各委員会の事業計画と委員は次のとおり、（◎印は委員長、○印副委員長）

〔文化委員会〕◎下平一郎○林彦志・伊原勝・小室正己・伊藤万保小林易子・下平英俊・下平直人・小林章夫・木下吉次郎・池田義彦山田勝・塩沢甲夫・原勝・金子隆一・木下祐治

（事業内容）◎文化祭 ◎市民セミナー（地区の課題）四回 ◎史跡めぐり三回 ◎講演会 ◎村誌等の学習会 ◎議会研修 ◎民俗資料の蒐集 ◎ペン習字・盆栽教室の育成 ◎写真クラブ発足育成 ◎写真、スライドの保存 ◎古老の語る竜丘（ノート）◎盆踊りなど

〔民俗資料保存委員会〕◎中田美稔 ○関島寿穂・桐生寿郎・小林晃・中平博・佐々木元・伊原万介林直人・久保田豊一・松下先生（小学校）・塩沢稔・文化委正副委員長

（事業内容）◎民俗資料の体型的蒐集 ◎古老の語る竜丘（ノートテープ）◎民俗資料保存台帳・解説の整備 ◎虫干し ◎定例会毎月 ◎講習会参加 ◎文化祭出展など

〔体育委員会〕◎下平衛 ○原功増田正司・今村三郎・上松保子・下平澄子・下平吾郎・岩下勇生・大平寿一・伊藤勉・福沢岩男・中村定光・下平広志・下田豊洋・横山明・原恒・吉川喜代・林隆治・田中憲文・小林武司

目標として一 スポーツの底辺を拡げ健康の増進を図ろう

二、グループ活動を推進強化しよう。三、スポーツを通じ地区民の親睦を図ろう

（事業内容）◎民謡グループの育成 ◎市民運動会 ◎バトミントン講習会 ◎早起野球地区大会 ◎盆常会対抗野球 ◎母親、男子バレー大会 ◎卓球大会 ◎ミニ国体 ◎学校プール開放 ◎健康体力テスト（体力づくり）など

〔図書委員会〕◎森義宏 ○井口友二・浜島美博・原清三・下平芳昭・筒井保治・今村健・久保田秋一・原耕一・下平和子・岡村千恵子・関島秋子・原田京子・熊谷由美子・下平和美・笹岡陽子

（事業内容）◎毎週土曜日夜間開館 ◎図書案内の発行 ◎図書館の整備 ◎新刊図書購入など

企画委員会と広報委員会は計画立案中であり委員も未定。

〔企画委員会〕◎明るい選挙の学習会（常時） ◎詩吟グループ育成 ◎成人式 ◎敬老会 ◎新春放談会（地区内の諸問題）など

〔広報委員会〕◎館報発行四回

今年度は生活改善推進が切実な問題となり、その実現が叫ばれ、インフレの進行で尋しにくい毎日が続いている。こういう時こそ皆で話し合ったり、学び合う公民館の役割が重大で、地区民の協力と参加を期待する

人間らしく生きる

青年の主張

社会へ巣立つ青年に対して、よく耳にする言葉。お祝い激励の言葉と共に、「社会に役立つ人間となれ」「人に尊敬される生き方をしなさい」と。

私達が数年前、いやもっと以前から、社会の人から、また先輩から言われてきただろう、これらの言葉。人間は一人きりでは生活できない。いろいろな対人間関係に援け合い、慰さめ、励ましが必要だということは誰もが認めている。それは常に自分のために必要としているのであり、他人のために必要とされる人間関係については、多くの場合 思慮が到らないのが 多くの人の場合ではないかと思う。「他人の身になって考えよ」と叱られたのは通常も自分の側での見方、考え方をしているからだと思うのです。

社会へ巣立つ青年に対して、よく耳にする言葉。お祝い激励の言葉と共に、「社会に役立つ人間となれ」「人に尊敬される生き方をしなさい」と。

私達が数年前、いやもっと以前から、社会の人から、また先輩から言われてきただろう、これらの言葉。人間は一人きりでは生活できない。いろいろな対人間関係に援け合い、慰さめ、励ましが必要だということは誰もが認めている。それは常に自分のために必要としているのであり、他人のために必要とされる人間関係については、多くの場合 思慮が到らないのが 多くの人の場合ではないかと思う。「他人の身になって考えよ」と叱られたのは通常も自分の側での見方、考え方をしているからだと思うのです。

私達は生活している中で随分と周囲への不満や怒りや呪いを、あきれる程多く持つ。自分の利益、自分の楽しみ。考える事のほとんどが、自分の側からだけの思索です。いろんな人と関わる中には、身勝手な奴だ、利己的な奴だと思うことがあるが、ふと自分を振り返る時、嫌悪さえ感じる姿を、自分の中に見出すこともあるから、あまり他人に向っては云えないかも知れない。けれど、そこから自分も反省し、高まらなくてはと思う。

御国のため教えられ戦死された人も多かったが 今、云われるよりもノを云え」と叱られたのは通常も自分の側での見方、考え方をしているからだと思うのです。

私達は生活している中で随分と周囲への不満や怒りや呪いを、あきれる程多く持つ。自分の利益、自分の楽しみ。考える事のほとんどが、自分の側からだけの思索です。いろんな人と関わる中には、身勝手な奴だ、利己的な奴だと思うことがあるが、ふと自分を振り返る時、嫌悪さえ感じる姿を、自分の中に見出すこともあるから、あまり他人に向っては云えないかも知れない。けれど、そこから自分も反省し、高まらなくてはと思う。

御国のため教えられ戦死された人も多かったが 今、云われるよりノを云え」と叱られたのは通常も自分の側での見方、考え方をしているからだと思うのです。

私達は生活している中で随分と周囲への不満や怒りや呪いを、あきれる程多く持つ。自分の利益、自分の楽しみ。考える事のほとんどが、自分の側からだけの思索です。いろんな人と関わる中には、身勝手な奴だ、利己的な奴だと思うことがあるが、ふと自分を振り返る時、嫌悪さえ感じる姿を、自分の中に見出すこともあるから、あまり他人に向っては云えないかも知れない。けれど、そこから自分も反省し、高まらなくてはと思う。

御国のため教えられ戦死された人も多かったが 今、云われるよりノを云え」と叱られたのは通常も自分の側での見方、考え方をしているからだと思うのです。

私達は生活している中で随分と周囲への不満や怒りや呪いを、あきれる程多く持つ。自分の利益、自分の楽しみ。考える事のほとんどが、自分の側からだけの思索です。いろんな人と関わる中には、身勝手な奴だ、利己的な奴だと思うことがあるが、ふと自分を振り返る時、嫌悪さえ感じる姿を、自分の中に見出すこともあるから、あまり他人に向っては云えないかも知れない。けれど、そこから自分も反省し、高まらなくてはと思う。

御国のため教えられ戦死された人も多かったが 今、云われるよりノを云え」と叱られたのは通常も自分の側での見方、考え方をしているからだと思うのです。

私達は生活している中で随分と周囲への不満や怒りや呪いを、あきれる程多く持つ。自分の利益、自分の楽しみ。考える事のほとんどが、自分の側からだけの思索です。いろんな人と関わる中には、身勝手な奴だ、利己的な奴だと思うことがあるが、ふと自分を振り返る時、嫌悪さえ感じる姿を、自分の中に見出すこともあるから、あまり他人に向っては云えないかも知れない。けれど、そこから自分も反省し、高まらなくてはと思う。

御国のため教えられ戦死された人も多かったが 今、云われるよろうか。

（Y・M）

一万余点の出土品を収蔵

管理者に笹岡秀郎氏 考古資料館

上川路開善寺境内に昨冬より建設していた飯田市考古資料館も五月十日完成式をした。

鉄筋コンクリート入母屋づくり、平屋建で屋根はカラー鉄板のこけらぶき、ゆかは湿気をふせぐため高床式で、建築面積三百九十六、〇九平方メートル、予算県費補助金五百万円市費より二千七百四十五万八千円で太田建設により施工された。

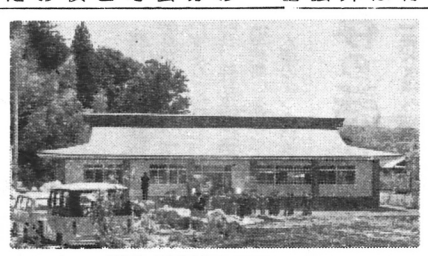
十日午前十時より太田県教育委員会文化課長ら約五十人が出席、松沢飯田市長らがテープカットしたほか、経過報告、来賓祝辞等で完成式が行なわれた。

一般への公開は入場券、帳簿整理、陳列の関係で十六日より公開された。資料館の中は考古展示室民俗資料収蔵展示室、収蔵室 整理研究室、事務室、ホール、別棟にて便所にわかれ常勤の管理者一名に上川路笹岡秀郎氏があたられそのほか文化財審議委員及び考古学会の人達が管理にあたられ、中央道工事により発掘されたもの、農業構造改善により発掘されたものなど、下伊那教育会館やそれぞれの場所に保存されている一万点以上の文化財、又今後発掘されるものについても調査や研究された後に収蔵され流動的に陳列される。

この様な文化財を見るだけの目的でなく、それぞれの調査や保存、研究結果を考古学的な立場に立ちその価値を見てもらう資料館にし隨時パンフレット等発行して行きたいと話している。

入場料一般高校生百円、小中学生五十円、団体割引三十人以上一般高校生五十円、小中学生三十円で開館時間は午前九時より午後五時まで。週一日、水曜日及び年末年始が休館になる。

駐車場については数年様子を見て考えていく予定で、運営にあたっては今後さらに研究していき多くの文化財がかぎられた建物である収蔵される。開善寺は、重要文化財になっている山門や重要美術品の鐘楼、藤、立派に出来上った庭等もあり、陳列品もかわって行くので一年をとうし多くの人達に観覧されることが見込まれている。



〔完成した考古資料館〕

消防協力費は区が集金

貯水池に補助金

防火防犯委員会が四月十日夜、支所にて開かれた。メンバーは自治会正副会長、各区長 消防団より責任班長以上の幹部十名、竜泉会会長（市合併後の歴代消防分団議事に先立ち役員の選出が行なわれ、会長に河原自治会長 副、北沢副自治会長と櫛爪分団長が決定した。会長より今後積極的な取組を行う旨の決意が表明され議事に入り、消防団より問題提起がされた。

一、防火貯水池の新設と管理・維持の問題。

二、消防・水防の備品について。

三、桐林詰所へ有線設置要求。

四、時又詰所へ便所設置要求。

五、母子家庭などで消火器を購入する場合の補助金要求。などの意見が分団本部や時又班や桐林班から出された。一、の貯水池の管理維持には、地元の受益者が当り、事故の無いよう注意をはらい区が管理責任を持つ、修繕や泥替えは地元負担となった。新設については時又区でその計画が報告され、容量二十立方メートル以上、市の基準に合う貯水池を市費二千万円の助成を得て、今年度決定した自治会の補助金五万円と、区の補助金二十万円で残金受益者負担予算約六十万円で新設される。

地区内の貯水池に表示板を取り付ける要求が出され、夜間でもわかるように夜光塗料でと注文がついたが順次整備するとのことだった

二、の問題は時又と上川路の火の見やぐらの形状変更と塗装の要求が出て、危険な状態なので早急に市や署へ要求することとなった。

水防倉庫（カルニュー上）前へ駐車しないように知らせる標示板を作ることが決定した。

三、の有線設置は市へ要求する。

四、の問題は、時又商店街でもあり詰所の改築が無理なら附近へ独立トイレを新設する要求が出され今後の研究課題となった。

五、の母子家庭などへの補助は、市で行うべきであるが今年度は、自治会で補助すべきとの要求に対し自治会で相当額の補助が決定。

消防協力費の徴収は各班まちまちであったが今年度は、時又方式で区が責任を持って協力対象者から集金することとなり、消防団が直接集金に歩くことは廃止された。

金額も竜丘地区内で平均化するよう今後の研究と努力する事が決定した。第一回の会議は以上の討議が行なわれ終了したが防犯問題が討議されず近く第二回が開らかれることとなろう。

公民館主事交替

主事退任ご挨拶

塩沢 稔

この度の市役所の人事異動により農林課へ勤務が変りました。

昭和四十四年四月以来五ケ年間あっと云う間に過ぎてしまったような感じがします。

地区市民運動会、文化祭、各種学習活動など地区の皆様方の絶大なるご協力を頂き無事任務を全することが出来ましたことを有難く厚くお礼申上げます。

これからは公民館活動、学習活動も多種、多様化、するなど多くの問題があろうかと思いますが、伝統ある地区を守りより一層ご発展下さる事を祈念致します

簡単でありますが退任のご挨拶とします

新任・原主事 あいさつ

この度の人事異動により、この伝統ある竜丘公民館の活動をお手伝いするよう命ぜられ、過日着任いたしました原広志です。もとより浅学非才のうえ社会教育関係の経験も皆無という若輩でございますが、前任のベテラン公民館主事の塩沢さんが地域の皆さん方と築かれた伝統と活発な活動を些も停滞させることのないよう一生懸命頑張りたいと思いますので、前塩沢主事さん同様に地区の皆さん方のご指導とご協力をお願い申し上げます。個々お伺いしてご挨拶申し上げるのが本意でございますがこの紙上をお借りして簡単ではございますが就任のご挨拶といたします。

人事・役員

（敬称略）

市役所支所人事

（新任）

公民館主事 原 広志

出納担当 木下竹彦

保健婦 代田喜久

（転任）

農林課（公民館主事） 塩沢 稔

本庁保健室（保健婦） 竹村和子

（退職） 原 次郎

青年会新役員

会 長（市連代議員）筒井 保治

副会長（〃 ）原 耕一

〃（〃 ）今村千賀子

総務 部長 久保田秋一

社会産業部長 伊原 勝

文化厚生部長 増田 正司

情報宣伝部長 熊谷伊久夫

女子 部長 下平 和子

図書委員長（分館長）森 義宏

飯田市連合青年団塾行委員 中島 竜彦・原 順子

睦会新役員

運営委員長 代田 秀子

副 委員長 前沢喜代美

〃 〃 岡村登志子

記 録 松野ゆき子

〃 森沢 よね

会〔計〕 小室多美子

〃 長谷部美代子

〃 委 員 伊藤 和子

〃 〃 下平 道子

〃 〃 藤田 恵子

随想リレー（97回）

臼井の座頭の手

桐林 中田 金秋

六十九歳になって館報の隨想リレーを戴き感慨無量 今更ら感激の至りであります。

当年は未だ太平洋岸金華山沖に寒流の南下が続き春彼岸だと云うのに、日本列島の春はまだまだ遠い感じが致します。去る三月十日小野田寛郎少尉がルバング島から三十年振りに彼なりの戦争に終止符を打って帰えって来ましたが、戦後の現代青年達には受け入れ難い心の隔りを感じさせられます。吾々老人層も而りです。人間関係の保持と生活の妥協こそ老人福祉の今日絶対必要な理念でなくてはならないと信じます。

さて最近桐林と上川路の老人クラブ合同にて臼井川中域の天然現象、座頭の手と黄金ケ滝と、ホットホール（馬桶）とを伝説に含めて保存開発する事に決議しました。そして追々仕事を進めております。竜丘の皆様も是非一度訪ねて見て下さい。国道バイパスからわずか四〇〇m程上方にある山紫水明を絵にした様なミニ渓谷でありますから。

伝説としては昔或る座頭が欺された道を教えられて臼井川をさかのぼり大きな滝に道を塞がれて進退窮まり岩に抱きつき悶死した時のろいの手の跡だと云います。

又ホット・ホールは昔上野原の合戦洞で源氏と平家の殿様が戦を行い、平家の殿様の方が破れて唯一騎川を伝って落ち延びて来たが滝に阻れて最早どうにもならず馬から下りてゆっくり水を呑ませた上、因果を含めて別れ単身、滝に飛び込んで自害しました。残された馬は悲しくいなきましたがこれも滝に飛び込んで死んでしまったそうです。其の時の馬の亡魂が馬桶となり蹄の跡となって残ったと云われます。

又滝壷に沈んだ殿様の鎧が秋の入日に映えて黄金に輝いたそうです。平家ガ滝とも云われます。

凡そ伝説とは今の文化から批判すれば他愛ないものですが そこには古人の夢がありイメージがあります。又其の中から幾つかの真実も拾えるのではないでしょうか

座頭の手は風化現象でありまして風化作用としては大へん珍らしいものだそうです。（矢亀先生談）。次ぎにホット・ホール（瘤穴）は、グライング・ストーン（円礫）との摩擦による水の侵蝕作用だそうです。下久堅の三つ石と、天竜峡のイボ神様等に其の跡があります。風化作用としては恵那峡の傘石が国の指定になっております

（四十九年三月記）

ヤブ蚊

生活改善についての意向調査が各戸に配布されて来た。

一月の新春放談会に於て「私達の暮らしを今一度振り返って見よう」の観点から新生活運動の推進について話し合いがなされ、竜丘地区にも有形の生活改善推進委員会の設置と運動の推進を図って行く旨が全体の中で確認された。

そして今回のアンケートが一ケの運びとなった様だが……

この資料を見る限りでは不明確な部分が多く現実的な捕え方に乏しい。まず生活改善についての主旨が明らかでなく「おねがい」とは正に「お願い」に過ぎなく統計的な意味に等しい。問題の主旨が地域の人々に充分理解されないのでは！項目的にも放談会そのまゝの感が強く充分に討議された内容とは思えない、各種団体から 充分に煮つめた堀り下げた問題提起でないだけにこの問題の根の深さ、難かしさもあるが！

生活改善の調査だけに多くの人達の話し合いのテーマになる様な方向に 調査が向けられていなければならないのに！

家族の中で、グループの中で話し合うとか、あるいは組合的な寄合いの場のテーマにできる様な、広く一般に問題を提言し生活改善の主旨を良く訴えて行く役割りが推進委員会に公民館にあると思うが竜丘の独立公民館建設運動ともからみ合わせながら、生活改善の調査が調査だけに終る事なく有効な手段の一つとして活かされる様、関係者の御奮闘を期待します。

早期実現に動き出すか

公民館建設推進委員会

竜丘公民館建設の要求は、年々活発になるグループ活動や各種団体からの要求が強くなりこのたび竜丘公民館建設推進委員会（以下建設委員会）が組織され、具体的に運動を行ってゆくこととなった。

今まで独立公民館を要求する声は新春放談会のたびごとに出され現在の市役所支所兼用の施設の改築要求は昨年度より自治会が中心となり対市交渉を四回行ない、竜峡地区の市議の協力を得て陳情が行なわれて来た。建設委員会では建設場所は現在の市役所支所の旧館を取りこわし建設することを決定。建築の規模、構造については国の起債を受け立派な公民館活動の中心となる建物にするべく三百三十平方メートル以上の規模が研究され、三階建もしくは地下駐車場を持つ二階建などが意見として出されている。又、全市的な立場から、この公民館を竜丘地区のみに限らず竜峡地区の文化、経済の中心に集会が出来るホールをも備えたものにしたら等の意見も出されている。建設見通しは、今年度は無理ではあるが、先日市の社会教育課も調査に来ているし昭和五十年度に実現を目ざし運動を強化する。

又、旧時又八十二銀行の四百万円の便途は公民館建設の折の備品購入に充当することが確認されている。建設委員会のメンバーは、自治会役員二十名、公民館六名、青年会、婦人会、老人クラブ、社会福祉協議会、商栄会の代表各一名の合計三十一名で構成されたが具体的な討議、検討は次の小委員会のメンバーで進められる、自治会長、同副会長、公民館長、公民館企画副委員長、財産区議長、各区長（五名）、商栄会代表の十一名である。

この建設委員会が地区民の意見を良く聞き、公民館の早期実現を望むのであるが現在の問題点としては、どのような規模の公民館を建設すべきか、どのような施設が備えられたら良いのか、生活改善の運動と合わせてホールなどどう考えるのか、又市への運動展開のあり方、進め方、地区での要求の集約の仕方など一つ一つを積み重ねてもらいたいがまだこの委員も発足したばかりであり、今後の活躍に期待をする。

この建設運動を成功させる力は、地区民一人一人が持っている。それは各団体それぞれの立場で考え各グループの立場で考え必要な施設を要求し実現させ利用することで、委員会まかせにせず今後の動きを見守り各団体やグループの意識的な取り組みが必要である。

民俗資料保存の話し合い

新らたに委員会の設置

現代高度経済成長、生活文化の変遷の中で、失われつつある民俗資料を保存しようと、四十六年八月、公民館役員　文化委員会（林直人委員長）が中心となり、地区民の理解と協力を得て、千点余の民俗資料が収集された。その後、文化委員会が中心となり、整理がされ　四十七年度竜丘文化祭には一般公開された。そして、同年度末には資料と帳簿の整理が、ほぼ終った。

こうした貴重な民俗資料を公民館一事業部で管理していくには無理が有るのではないだろうか、という事から、去る、三月二十四日小学校に於いて公民館運営審議会自治協議会、史学会、学校、公民館の代表者が集まり、話し合いが持たれた。

その結果「民俗資料保存委員会」を作り運営する事になった。同会は、小学校改築迄とし、以後は開校百年記念基金を利用し、資料室を作り、小学校へ移管する。

民俗資料は地区の財産だから、財政面では自治協が協力する。同会の組織は、委員長・中田美稔さん（史学会・桐林）副委員長・関島寿禎さん（収集当時文化副委員長・長野原）委員は十名とし、地区内から公民館が選定委嘱する事になった。

現在まだ一部に整理が残されているが、バトンを受け継ぐ委員会の活躍が期待される。

十八年ぶりに舞う

駄科下平の獅子

四月十三日に駄科諏訪神社の春祭りが行なわれ、下平の獅子が十八年ぶりに復活し、駄科中を練り回り、神社境内に於いては、見事な奉納舞いを演じ、集まった地元の人達のかっさいをあびた。

従来駄科には、下平、南平、寺下の各部落に獅子があり、北平、新井原には屋台があって、春祭りには、競い合って参加した。そのための準備は大変であったが、あちこちから聞えて来る笛、太鼓の音、祭り囃子はなんとも言えない響を感じた。ある時には飯田のお練り祭りに参加した事もあったと云う。しかし、これらはみな昔物語となってしまった。

今年になって飯田のお練祭り、御柱祭等の祭りブームに乗り、下平地区でも獅子保存会を組織して老人から若者へ、郷土芸能の伝承が行なわれた。三月上旬から連日笛、太鼓、三味線等の練習を行い皆が立派に打ち鳴らせるようになったと云う。練習に参加した若者は、「郷土芸能として後世に伝承しなければならない事は理解出来るが、怒られ激励されての一ケ月の練習はつらかった。」「今日一日歩きづめで足がだるくて」などぼす。獅子を見ていた老人は、十数年ぶりに聞く囃子の音に感無量の様子、若者が難しい曲を打ならしているのを見て満足していた。

南平で見ていた若い農家の主人は「学校百年祭で獅子を出したがやっぱり祭り囃子はいいなあー、それにしても若い衆が皆勤めているのに、練習は大変であっただろうなあ」と云う。獅子はあちこちの家々をまわり、五穀豊穣、家内安全を祈願していた。

獅子を待つ神社では、のぼり旗が風になびき、燈籠には灯がともされ、近所の主婦や子供達が多勢お参りをすませ獅子を待っていた農作業をこの日は一日休んで、十八年ぶりの春まつりを楽しでいた。

鈴岡公園から見る駄科地区は、のぼり旗、国旗が沢山たてられ、桜も、公園のつつじも満開となり祭りに花をそえているようだ。

お薬師堂では十二日より十二薬師の御開帳も始まり、地元の人達が入れかわりお参りに来てにぎわっていた。

獅子保存会会長さんの話によれば今日この日のためハッピを作り、練習を重ねたという。それらの予算は保存会から出したとのこと。十二日はお薬師堂の御開帳、十三日は神社の祭り、十四日は日曜日でもあり、地区みんなで祭りを祝ってもらうため、三日間獅子を出したと云う。保存会員は二十二名失なわれゆく民俗芸能もこうして熱意のある人たちにより後世に受け継がれていくことだろう。

民俗資料の心

簑（みの）をつくって

桐林　原　義一さん

機械文明の発達と共に、私達の身のまわりでも、昔ながらの手づくりの物が消え去ろうとしている。人の手に依ってのみ作られた物の〝味〟が、徐々ではあるが確実に失なわれようとしてゆくのに対し誰しもが憂惜の念を抱くのは当然であろう。

雨の多い日本の気象条件の中で農作業などに欠く事の出来なかった〝簑〟も、時代の流れの中でその姿を見る事も無くなってきた。

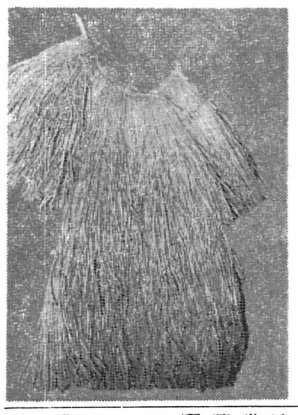
ここに、簑作りに関してはすぐれた腕を持つ一人の老人がいる。原義一さんがその人である。カッパなどというものがまだ無かった時代、雨天の農作業は簑に頼るしかなかった。原さんは大正十年を前後した頃、岐阜のある人からその技法を学び作り始めたという。主に農閑期を利用して行なわれたこの作業も、多い時には八百枚もの簑を作ったという。「子供を養なわんならんでなあ…。それでもあの頃にしちゃあ　結構いいゼニになった」と小さく笑いながら語る。生活を、子供を守らんが為に身に付けた技だったのだろう。

その頃、簑一枚が二十銭という値で、飯田　下伊那はもとより、上伊那、遠く東京までも原さんの簑は送り出されたという。形相良く、且つ丈夫な簑を作り上げるには、材料となる藁の吟味にも細心の注意を払った。しかも一枚作り上げるのに藁を五束も必要としたという。原さんの作った簑が、他の人のそれよりもすぐれていた事は過去幾度かの農業工芸品々評会での受賞を知る時、理解出来るのである。

昭和に入り戦前は、一枚一円五十銭で売れたという。その頃までは盛んに作っていた簑も、戦後、カッパが出廻り始めると、商品価値の無くなった簑は数多く作る事もなくなってしまった。そして、もっぱら装飾用、鑑賞用工芸品として、あるいは、学校等へ資料として残すために依頼され、それに応じ藁を手にした。藁細工の持つ素朴な郷びた味わいは、懐かしく我々の心に残りいつまでも捨て難いものである。然し乍ら、こうした我々の願望とは裏腹に、受け継ぐ者も無く、古い良いものが次々と忘れ去られてしまう事は淋しい限りである。

五月雨の頃、水を一面に張った田に苗が並び　その中で、菅の笠に簑をつけ、深々と腰を折り田植に勤しむ人々、そんな風景を今も又、これからも、もう見る事は出来ないだろう。

浜島美博記



〔写真は今は見る事も出来なくなった簑〕

睦会リレー日記出来る

地区の若い主婦の集まりである睦会で　会員の手による文集が四月十一日出き上がりました。

これは昨年四月から会員の間に回されていたリレーノートを、〝せっかく書いたノートだから皆で読めるように〟との気持ちから、この話が持ちあがったもので、今年二月半ばにまとめられ印刷が進んでいました。一日の暮しの中で思ったこと、感じたこと、あるいは料理について等、それぞれの日常生活を表わしているこの文集は鼎の玉泉印刷さんによる手書きの印刷で一部四十八ページのものが二〇〇部完成しました。

総予算二万二千円は睦会の会費の中から出され、いわゆる自主出版である。

これで睦会の歩みに、新しい一ページがしるされた訳です。会員のつながりも一段と強く、親密になることでしょう。

バレーもものびのび

防球ネット完成

小学校の講堂は地区内で唯一の体育館として公民館や青年会のバレーボールの練習や分館対抗に利用されてきた。しかし窓にボールを当てガラスを破損することが多く、利用者や学校の悩みとなっていたがこの度、小学校と公民館と社会教育課によりガラス破損防止のための防球ネットが各窓に取り付けられた。

このネットの完成披露を兼ねて、三月三日には公民館主催の睦会部落対抗排球大会が行なわれ、各選手も伸び〜〜プレーが出来、小学生にも喜こばれている。五月には分館対抗大会が行なわれ、熱戦の末、時又分館が優勝した。

地区婦人モデル学級

参加希望者募集中

市公民館と竜丘公民館では、竜丘地区の婦人を対象としたモデル学級を開設します。学習テーマは長野原地区でのアンケートで最も希望の多かった「家庭と経済」とされ、学習内容は今後学級参加者が検討し決定されます。六月中に学級への参加希望者を三十名募集し、七月十日開講・三月迄に十回程度の学習会を長野原公民館で行うよう計画しています。申し込み問い合わせは公民館の主事さんまでお願いします。

特別会計報告

公民館

大変遅くなりましたが、昭和四十八年度公民館特別会計決算書を報告致します。詳細は公民館に保管してありますのでご覧下さい。

尚四十九年三月末に公民館監査委員中田剛氏、木下幸男氏のお二人があたられ、監査報告と合わせてお知らせ致します。

市民運動会特別会計

収入の部		支出の部	
繰越金	2,357	賞品金	68,472
地区寄付金	157,900	賞金	45,157
		備品購入	12,000
		助成費	19,278
		糧食費	12,300
		運動具購入	
		差引残高	3,050
	160,257		160,257
		次年度繰越	3,050

敬老会特別会計

収入の部		支出の部	
繰越金	9,432	通信費	310
地区内寄付金	73,920	消耗品費	3,000
その他	1,700	謝金	10,000
補助金	83,490	借料	3,740
		賃料	123,680
		糧食費	12,211
		差引残高	15,595
	168,542		168,542
		次年度繰越	15,595

あの人この人

（一月〜三月）

◎伸び〜健やかに

氏名	部落	父名
林　徹	駄科	新次
長谷部祐二	上川路	豊志
河井　友子	時又	正則
木村　明博	時又	嘉登
岩堀　玲子	時又	周一
清水　美香	時又	美次
中村　貴洋	長野原	定光
木下絵美子	駄科	敦詞
山本　仁	駄科	美雄
折金　広美	駄科	末広
熊谷真太郎	駄科	邦文
藤岡　智弘	時又	昭文
小林　公子	長野原	健司
熊谷字多子	駄科	文伸
椙山　美雪	時又	正幸
平沢　雅人	桐林	達三
竹村　昌枝	駄科	建人
関島そのみ	駄科	芳彦
伊藤　晃	時又	宣二
宮下伊津子	駄科	恒雄
下田　剛久	時又	明
下平　大介	駄科	澄端
田中　憲和	上川路	憲文
一ノ瀬広志	駄科	清

◎永遠に幸あれ

氏名	部落	年令
小木曽初志	時又	六九歳
秦　けい	駄科	女八七歳
小林　ナカ	長野原	女八八歳
中島　くめ	桐林	女八六歳
今村　尚司	時又	男八一歳
前沢　利信	長野原	男六六歳
下平亀五郎	桐林	男八五歳
牧島登美恵	駄科	女六八歳
原　茂雄	桐林	男八三歳
佐々木　薫	桐林	男八六歳
藤本　高三	長野原	男五〇歳
多田さかえ	駄科	女七七歳
仲田　照夫	桐林	
小椋美智子	豊丘村より	
熊谷　和美	上川路	
牧島　勇恵	駄科	より
小林　徳郎	駄科	
成瀬　博子	上飯田より	
牧内　三男	東京へ	
原田　公子	上川路	
今村　知昭	上川路	
大沢　優子	上飯田より	
小林　仁	長野原	
今村　和子	松尾より	
今村　萬吉	時又	
上松　以紗	下瀬より	
山口　賢治	徳島県より	
中島ハツコ	時又	
本島　建助	鼎町より	
奥村恵美子	時又	
平地　茂雄	広島県へ	
伊藤　治子	時又	

◎御冥福を祈る

氏名	部落	性	年令
小林　正文	下沢つぎ子	桐林	松川町より
吉川　俊司	壬生久仁子	桐林	豊丘村より
森　活亮	中島香代子	上川路	川路より
佐吉　新一	下平香代子	上飯田へ	駄科
清水　勝弘	櫃川	時又	時又より
下井田寿美男	大沢久美子	長野原	高森町より
北沢洋太郎	佐々木恭子	駄科	阿南町より

鉛筆かついで

恵那山トンネル

難工事に従事して

時又　柘植勝己さん

中央道・恵那山トンネルの補助トンネルが去る三月三日貫通しました。この工事に従事し当時貫通地点に居た時又の柘植（つげ）勝己さんは「今までの苦労が実った嬉しさでいっぱいでした」と語って下さった。

今回は、柘植さんを長石寺横のお宅にお訪ねした。見るからに逞しい体で、五十五歳とは思えない若さを感じさせる。

恵那山トンネルは、四十二年十月着工、園原と中津川を結び、富士見台直下を通る全長八・五㎞、道路トンネルとしては日本一、世界でもモンブラントンネルに次ぐものである。

作業は二交代制、午前七時から午後六時までの担当で、プレスコンクリート運搬のバッテリー車運転に当られていた。「外の明が見える所は何ともなかったが、見えなくなると慣れないせいか、気持ちが悪かった」と語る。

西宮線最大の難所だけあり、苦労話を沢山聞かせて下さった。水との闘いが一番で、雨衣、長靴姿で当る。特に破砕帯の通過で被害に会う。今まで八ケ所（最長百二十m）会ったという。平均二m進む工事もそんな所ではストップしてしまう。温度は年間一定していて、高温でガスが発生し工事の邪魔をする。「一つ誤れば死に通ずる仕事で、一秒一秒が真剣」と語る。こうした努力のせいで、犠牲者の少ない事は有名である。一日の仕事が終り、外へ出て「やれやれ」とするという。

奥さんが目が不自由で本人は五時起床、家事を行ない六時十五分出発する。家へ帰れば六時半、月二日の休日は家事でいっぱいという忙しい毎日である。「楽しみは？」と聞かれると「やっぱり家へ帰って毎日やる晩酌だなあ」と素直に教えて下さった。お会いした時から程よいアルコールの香が伝わる。しかし　一日の疲れにも負けず真剣な眼差し、力のこもった口調で話される姿が印象的だった。

「世界的なトンネル工事に取組みやりがいを感じています」五十年春完成を目前にして「そりゃあ完成したら自分で車を運転して家族を乗せて通らにゃあしようない」と声を大にして言い切った。「一応施設は整うが、トンネル内で事故を起したらどうしようもない。マナーを守り、交通災害を起さない様にして欲しい」とアドバイスして下さった。多くの方々が利用するだろう。柘植さんをはじめとする多くの人達が、この工事に命を賭けている事を心のどこかに置いて欲しい。

危険なトンネル工事へ送り出す家族の方々は心配が絶えないであろう。工事の安全と無事完成、一家の幸せを祈りつつ失礼した。

求む！タンス

民俗資料保存の為に古ダンスを求めています、衣類等を保存するために必要です。御協力下さる方は公民館事務局まで、御一報を！